

《 珠香の独り言 》



世の中は新型コロナウイルス感染症で大変な騒ぎ。皆さんも自粛生活です。トリスが溜まっしきいてる間に、オリンピック延期の決定。この先いつまで続くのか、どうなってしまうのだろうかと不安で一杯ですよ。☹️ 見えな
いものだからこそ余計に恐怖。どういったことは、昔から何度も繰り返され
てきています。ハンセン病、マラリア、結核、コレラ、ペスト…近年ではS
ARS、MERS、鳥インフルエンザ等々。次から次へと。その都度多くの死
者を出しては、治療法が開発され…また新しいウイルスが出現し…先人た
ちは何とか乗り越え、我々に命を繋いでくれています。この度のことも例外
ではあられませんね。また、今回はこのじぶがきっかけで、テレワークといった
会社に行かずに仕事をする方法、学校に行かずに勉強する方法が一気に普
及したり、各飲食店やお花屋さん、様々な業界でも生き残りのため色々な
アイデアを出しています。このように感染症の流行によっても、我々の生活
様式が変化していかへのだな〜と歴史が作り上げられていく渦中にある
実感や、のびのびと感づいてます。

又、疫病は宗教の発展とも大きく関わっているのですよね。例えば、日本
の場合、災害や疫病などの異変は、為政者の資質によって引き起こされる
と見なす風潮がありました。聖武天皇の時代には、天然痘が流行し、個人
的な責任を感じた天皇は、仏教への帰依を深め、東大寺、奈良の大仏の建
造や、日本各地に国分寺を建立したのですよ。少数教団であったキリス
ト教も、疫病が大流行した時代に、どこよりも献身的なケアの姿勢をみ
せたことが、キリスト教徒の飛躍的増加のきっかけになったとも言われてい
ます。実は、日本三大祭りの一つ、平安時代から一〇〇年あまり続く祇園
祭も疫病と関係しているのです。清和天皇の時代に各地で災害が発生し、
疫病が蔓延。その後も天変地異が起ったことで、疫病退治の力を持つ牛
頭天王を祀る祇園社(八坂神社)から神泉苑へ矛六十六本を建てて神輿を送
りました。六十六本というのは、当時の日本は六十六カ国だったため。つま
り、全国に蔓延する疫病を鎮める為に災厄消除を祈ったことに始まった
のですね。このようにして、災害や感染症をきっかけに国は良い方向へ大き
く変わってきています。自然災害の多い最近の日本では、過去の教訓を活か
し災害対策が充実していますよね。これは大変ありがたいことです。この度
の、新型コロナウイルス感染症でも、我々はたくさんのお話を学び、次に活
かせねばなりません。なにか、最小限の被害を抑えらわねば、一人一人
人がびびるような社会になります。必ず、終息の時期は来ますからね！

《 じゅうわん法話 》 「ホラ吹き」

「ホラを吹く」「大ほら吹き」といえば、誰にもわかるようなウソを本當らしく、大袈裟なことを言いつきに使われますね。「ホラ」は「法螺」と書き、フジガイ科の巻貝で日本産の巻貝では最も大きい貝のこと。この巻貝の端に笛をつけ、音をなるとうにしたりしたものを、修験者の法具として法会で使用されたりしています。インドでは、人を集めるために使用したり、昔の日本でも戦場で出陣の合図として使用されていました。この音は、遠くまで響き、軍勢を奮立たせるので、仏教では、遠くまで響かわたるこの法螺貝の音そのものが、仏の説法でもあります。法会の際に吹くのも、この音を聴いて諸天善神が歓喜し姿を現すとされています。『無量寿経』には「法鼓を吹き法螺を吹く」「法華経序品」には「大法雨を雨らし大法螺を吹き大法鼓を撃ち大法義を演ず」ともあります。大法螺の音は東に勇壮なので、これが転じて大言壮語、大ウソをいふことを、世間では「法螺を吹く」というふうになったのです。実際、山伏が登拝修行の時に法螺貝をたびたび吹きながら登っていくのが、微妙に吹き方を奏え、「これから山にはいらしますよ」「いいですすよ」「到着しましたよ」「等々、山の神様への挨拶を仲間への様々な合図を伝えることのできるのです。



《 生きる言葉〜弘法大師〜 》 「秘密曼荼羅十住心論」

曾て我の自性を観ぜざるば

何ぞ能く法の実諦を知らん

「自分の心を深く見つめたことのない者が、どうして世界の真理を知ることができようか。」

自分自身のいふことで、自分自身が一番わかることなのに思っても、実は一番わかっているものではない。自分のいふばかり、しかも他人のいふをいふか、いふ人を見れば、よくわかるもの。A

真言宗の瞑想法には「数息観・月輪観・阿字観」というものがあります。自分自身の呼吸に意識を向け、自分の心と向き合ひ、自分自身と仏（世界の真理）とが繋がっている。一体であることと目覚めるための行です。我々真言僧侶は衆生救済（利他）と同時に常に自分自身と向き合ひ浄化をする行（自利）をしなければなりません。この業界でも共通する部分ですね。

この瞑想法は、お大師様が中国に渡り惠果和尚から伝授され、日本に伝えられたもの。インド発祥のヨーガとも密接な関係があります。そしていよいよ、近々当寺でヨガのインストラクターをお招きして、定期的なヨガを開催する計画になりました(笑)。詳細は後日。

「数息観・月輪観」も随時予約を受け付けておきますよ。

3月20日(木)春彼岸中日法要

無事に春彼岸中日法要を厳修。参拝者の皆様と共に読経し、ご先祖様への感謝の念を伝えさせていただきました。法要前には、3分でできるマスク作りをしました。
マスクがなくなっても大丈夫！なんとか乗り切りましょう！



さあ！こんな時だからこそ！お知らせ！

コロナにまけない心身作りをしましょう！当寺で健康長、免疫力アップのために、様々な催し物を計画してます。お気軽にご参加下さい。

成田山 瀧泉寺

お寺ヨガ



with お不動さん

令和2年6月28日(日)

10:30-12:15 モーニングフローヨガ
法話15分/ヨガ75分 すっきり★★～★★★

15:00-16:00 なごみヨガ
法話10分/ヨガ50分 ゆったり★

男女問わずご参加いただけます
静寂や穏やかさを感じ、ゆったりとお過ごしいただきたい為
対象年齢は15歳以上とさせていただきます
小学生以上は別室で遊べますのでお問い合わせください

《参加費》
おひとり1,500円/1クラス(お布施代含む)

《お持ち物》
ヨガマット(なければバスタオル)
動きやすい服装、お飲み物、フェイスタオル
ブランケット類(カラダを冷やさないために使います)

《会場》
成田山瀧泉寺 本堂 登別市中登別町220-5
法話 瀧泉寺副住職 山瀬珠香
ヨガインストラクター 高橋道恵(みっちー)

ご予約制となります/お気軽にどうぞ！

TEL 080-1499-2088 (山瀬)
MAIL noboribetsu.ryusenji@gmail.com



瀧泉寺web



インストラクターweb

明日を「元気に」、「はつらつと」生きるための

介護予防教室



ここ・個々でトレーニング・悩みが取れる

介護予防指導士が
無理のないメニューをご案内します

開催場所・内容

場 所：成田山瀧泉寺
内 容：介護予防や病気の知識
介護予防体操
脳トレ など

健康づくり、私たちと一緒に
はじめてみませんか！！

山本産業株式会社 福祉事業部
介護予防指導士 寺部(てらべ)

定期的で開催します。↑
日時はその都度追ってお知らせします！

- 《 四月・五月行事予定 》
- ・四月二十八日(日) 九時半〜 お地藏さん磨き
- ・五月十日(日) 十時〜 大祭に向け大掃除
- ・五月十七日(日) 十一時〜 春の例大祭 観音山開き

※二十八日のお不動様縁日はこの日に代えさせていただきます。

柴燈大護摩供火渡り行厳修

TEL 059-104633 登別市中登別町二〇・五
電 話 0143-184143
ファックス 0143-184130

瀧泉寺中 山瀬珠香

